



みのりの郷東白川通信

〒509-1301 岐阜県加茂郡東白川村越原 1057-4 TEL: 0574-78-2811 FAX: 0574-78-2018

7月9日の梅雨明け後、気温の高い晴れた日が続いています。12日に名古屋地方気象台から出た1ヶ月予報でも平年に比べ、晴れの日が多く、気温も高くなると予報が出ています。高温に対する農作物管理を心がけ、早めに対策を行いましょう。

熱中症にご注意ください！！

- ・こまめな休憩を忘れずに！
- ・暑い場所での長時間の作業はできるだけ避けること！
- ・喉が渇いたと感じなくても、早めの水分補給を！（30分おきにコップ1杯程度の水分を取る）
- ・帽子の着用や、通気性の良い、吸湿性・速乾性に優れた服装を！
- ・体調が悪いときは、無理をしないこと！

近年の高温化傾向は、白未熟粒などの米の品質低下の原因になっています。水稻に対する高温の影響は、主に稲の呼吸量の増大と、茎葉から水分の蒸散する量が増えることが原因です。管理に当たっては、次の点に留意して稲の生育も維持を図ってください。

ポイント1 穂肥の適正施用を！

登熟期が高温の場合、籾数が過剰になると乳白粒の発生が多くなることが知られています。被覆尿素などの緩効性窒素肥料を穂肥に使用することで白未熟粒の発生を抑えることができます。適切な穂肥の施用により籾数を適正な範囲に制御し、登熟期の窒素供給を一定程度確保してください。

ポイント2 夜間の冷水通水を！

夜間の気温が高いと稲の呼吸量が多くなり、昼間に蓄積した養分を消費させてしまいます。稲の体力消耗を少しでも減らすために、夜間通水により、地温・気温を低下させ、温度を下げてください。

※気温より低い水温の用水で直接稲を冷やすかけ流しは、出穂後20日間の実施により、白未熟粒や胴割粒の発生を抑制する効果が高いが、用水量が増えるので水利慣行の制約に注意してください。

お問い合わせ先

- **農作業について** みのりの郷東白川(株)
[電話：78-2811 FAX：78-2018 岐阜県加茂郡東白川村越原1057-4]
- **水稻苗について** JA水稻育苗施設
[電話：78-2402・・・担当 渡辺 亮]
- **農薬の取扱いについて** JAみのりかも営農経済センター白川(営)
[電話：72-1031]